大宮駅周辺 ウォーカブル推進作戦会議 ～第2回～

昨年のコンペ提案内容共有

小川氏
「心も体も満たされる、ウェルビーングな大宮マチミチへ」

提案① 大宮西口から散歩コース

提案② 人との出会い活性化

車道・歩道 区別あいまいに ▷ 車が歩行者に注意 安全運転増える？

体を動かす場所

気分転換にパソコンを開く場所

老舗と新店コラボ

地域栽園

★大宮らしさ複雑 単純化不可

大宮の良さ：おおらかさ / 親しみやすさ

萩野氏
「ニワ/ナカニアルマチ」

何らかの行為をする場

★市民のためのおもてなし空間 見沼まで拡大したい

提案① ミズミチ

提案② 広場化

旧市民会館

氷川参道

提案③ セントラルパーク予定地で社会実験

BBQ

グランピング施設

★~~もてなす~~ もてなされる側を育てる

佐々木氏
「モビリティ・アーバニズム」

2040年までの大きな変化

移動の変化

手段の変化

意味の変化

モノ

プログラム

ヒト

ヒトは動かず、モノ・プログラムが寄ってくる時代に

そもそもウォーカブル必要？

★変化に柔軟に対応可能な空間作りが大事

飛田氏
「Connect」

歩行者空間の改善 ▷ 回遊性UP

提案① 一の宮通り

Aゾーン：歩行者専用

Bゾーン：歩行者・自転車共存

提案② 氷川通り

情報発信強化

イベント / 大宮のマイナーな情報

★商店街・サッカーのにぎわいが大宮らしさ

吉武氏
「みちでみちる わたしの暮らし」

ウォーカブルな街 = 自由に動き回ることができる

大宮らしさ

1 風土：氷川参道 見沼田んぼ

盆栽

自然

門前町・宿場町としての歴史

2 文化：駅前商業の集積 UDCOを中心にした街づくり

3 都市構造：鉄道による東西分断 東西のまち空間構成のちがい

提案① 高質な土木空間と動的な仮設ファーニチャー

提案② 居心地の良い空間づくり

提案③ 暮らしを支える空間マネジメント

意見交換は提案者5人＋プラス

藤村氏 / 田中氏 / 大沼氏

意見交換①「推進戦略に向けて」

2010年 大宮駅周辺地域戦略ビジョン策定
おもてなし歩行エリア形成しよう

2011年 東北大震災
大宮の国の位置づけ変化
東京都市圏の近郊都市 ▷▷▷ 東日本の対流拠点

Q「大宮らしさ」「大宮が目指すウォーカブル」「推進戦略の対象範囲」について、各提案者が考えていること

A モード変化激しい 小一度決めたものも見直し必要

★住んでいる人が まず楽しいと感じること 大事では？

再開発進む西口 ▷ 人口増加予想 ▷ 「健康」に着目

サッカー試合で日常的に賑わう東口 ▷ 小さな出会い 創出する空間・仕掛けづくり

A 大宮の独自性が大事

佐 ★歩く意味・歩きたくなる空間 見直しが必要

★まちづくりは トップダウン → みんなで自主的に

★ウォーカブルに取組むメリット 住民にきちんと伝えるべき

A 市民の生活に重点置いた取組必要では

★グリーンインフラをつないでみては？

大宮区役所 / 氷川神社 / 見沼田んぼ

★縁を共有物に

A イベントも日常も使える空間の提案

★大宮が目指す姿 明確化させていくことが大事

意見交換②「共感できるキーワード」

A ウェルビーイング ⟷ ハピネス（一時的な幸福）

身体 / 精神 / 社会的福祉

A ウォーカブル DDD 外にいることが楽しい・嬉しい

道路に気持ちいい空間づくり

人間交通のための空間

A「ニワマチ」 庭のような街づくり

パブリック / プライベート / 境界をあいまいに

★駅から外へ人を誘導 考える必要性あり

駅を出て縁を感じる工夫が必要

大宮駅

A「回遊性」

目的を設ける

きっかけを設ける

A「くらしでもてなすまち」

住む / 暮らす / 働く / 楽しむ

「持続的な喜び」「フレキシビリティ」「柔軟さ」「動的な日常の風景」

多様な暮らしを受け入れる

グラレコ@shiorin_grp